助成事業名　**写真展「鵜沼」―空中歩道・鵜沼地区の活性化を目指して事業**

（まちづくり助成２年目：住みよいまちづくりを考える会）

事業概要　写真展「鵜沼」と、鵜沼・各務原市の風土・歴史のパネル展示、講演会の開催等により、空中歩道・名鉄新鵜沼駅西ロータリー・名鉄新鵜沼駅周辺地域・鵜沼南町河川公園、更には鵜沼地区の活性化を目指す

実施内容

１．写真展「鵜沼」開催

（1）写真と絵画の募集　ウェブと対面で受付　応募 120 点

（2）表彰式（鵜沼空中歩道　中央昇降口階段上スクエア）
10 月 5 日（日）参加者 100 名
表彰：最優秀賞、市長賞、優秀賞、特別賞、佳作
アンケート感想　「とても良かった」・「良かった」90%

２．「スマホで写真講座」の開催（鵜沼南町会館）

スマホでの写真撮影のテクニック等を紹介する講座を開催。
講　師：森 祐輔 氏（スタジオ hiyori）
開催日：6 月 8 日（日）・14 日（土）、参加者延べ 30 名
内　容：
【講義】テクニック説明
【撮影会】鵜沼南町河川敷公園・遊歩道（1 日目）、
　　室内での紫陽花・果物撮影（2 日目）
【発表会】参加者作品を観て身についた撮影テクニックを確認

３．講演会の開催（鵜沼南町会館・天狗谷遺跡）

講演会「各務原が生まれる-村國男依から各務氏へ-」開催。
講　師：西村 勝広 氏（各務原市文化財課）
開催日：11 月 30 日（日）　参加者：30 名
内　容：
【講演】・村國男依に壬申の乱での武功・論功、出生・領地
　　・各務氏の台頭・村國氏の衰退
　　・村國神社の所在
【見学】天狗谷遺跡
　　・古墳
　　内部まで入って見学。
　　天井石・奥の岩ともに一枚岩。羨道もはっきり残る。
　　・須恵器・釉薬陶器　窯場
　　通常では入ることができない建屋に特別に入り見学。
　　須恵器・灰釉陶器窯の穴窯は原型をとどめていた。

－＊－

事業成果

●「写真展・鵜沼」に対する認知度が上がり、鵜沼地区への関心が格段に上がった。
　同時に、空中歩道に対する関心が刺激され、昨年に引き続き、人の流れが増加した。
●「写真展・鵜沼」「講演会」の開催により、鵜沼地区への関心が高まり、他地区からの訪れが大幅に増加した。
● 鵜沼地区の歴史・文化・人物への関心が高まり、催しの継続を希望する声が多く聞かれた。

収支報告　事業費総額　184,330 円　/　助成金交付確定額　60,000 円

助成経費内容　写真印刷費、賞品、消耗品、講師謝礼、A 型看板、USBメモリ、チラシ等印刷、コピー用紙、表彰用紙